

Oracleデータベース連携
バックアップリカバリ基盤ソリューション
アクティベーション操作ガイド

Prime Data Consulting株式会社

アジェンダ

バックアップリカバリ基盤ソリューションのアクティベーションとは
トライアルライセンスの動作制限
製品版ライセンスの種類
トライアル版アクティベーションまでの流れ
製品版アクティベーションの流れ
トライアル版アクティベーション操作の起動
トライアル版アクティベーション使用許諾契約操作
トライアル版アクティベーションライセンス番号表示
トライアル版アクティベーションライセンスキー入力操作
製品ライセンスのパラメータ設定操作

バックアップリカバリ基盤ソリューションのアクティベーションとは

データベース基盤ソリューションには、「プロダクトアクティベーション」の操作が必要。

プロダクトアクティベーションとは

プロダクトアクティベーションには2種類のライセンス認証方法があります。

- ・ダウンロード後トライアルライセンスで評価後、基盤ソリューションを導入する方法
トライアルライセンスから製品版ライセンスへの乗り換え契約
- ・ダウンロード後トライアルライセンスを未評価で、基盤ソリューションを導入する方法
製品版ライセンス契約

ライセンス種別	使用期間	提供物		備考
		実行モジュール	操作手順書	
トライアルライセンス	インストールした日から90日間	シングル環境	シングル環境	サポートなし
製品版ライセンス	無期限	契約形態に依存 1		個別契約締結により、質問応答システムを利用

1 法人契約 : 導入ノードが構成する環境に対応
個人契約 : シングル構成のデータベース環境に対応

トライアルライセンスの動作制限

トライアルライセンスではRMANを使用したバックアップとリカバリのみをサポート。

トライアルライセンスでのソリューション動作

製品版ライセンスでは、システム動作環境に応じたソリューションの運用方法の選択が可能です。
トライアルライセンスでは、シングル環境のバックアップおよびリカバリをサポート。

また運用維持機能も、製品版ライセンスから標準サポート(トライアルライセンスでは、有償提供)しています。

製品版ライセンスの種類

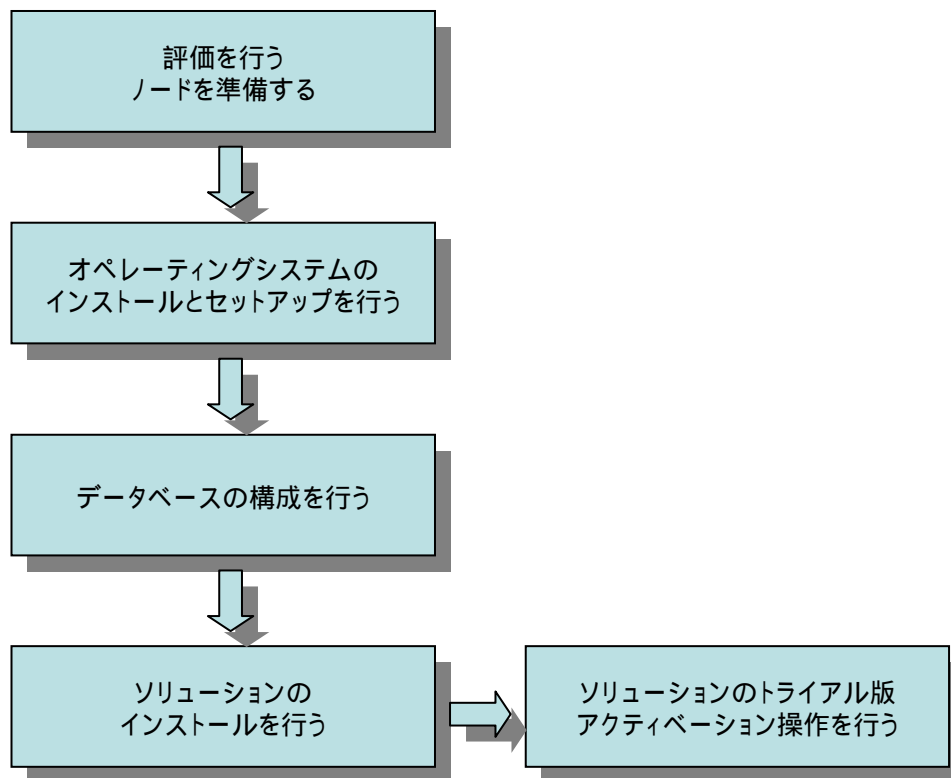
データベース基盤ソリューションの、契約には法人契約と個人契約の2通りがあります。

法人契約と個人契約とは

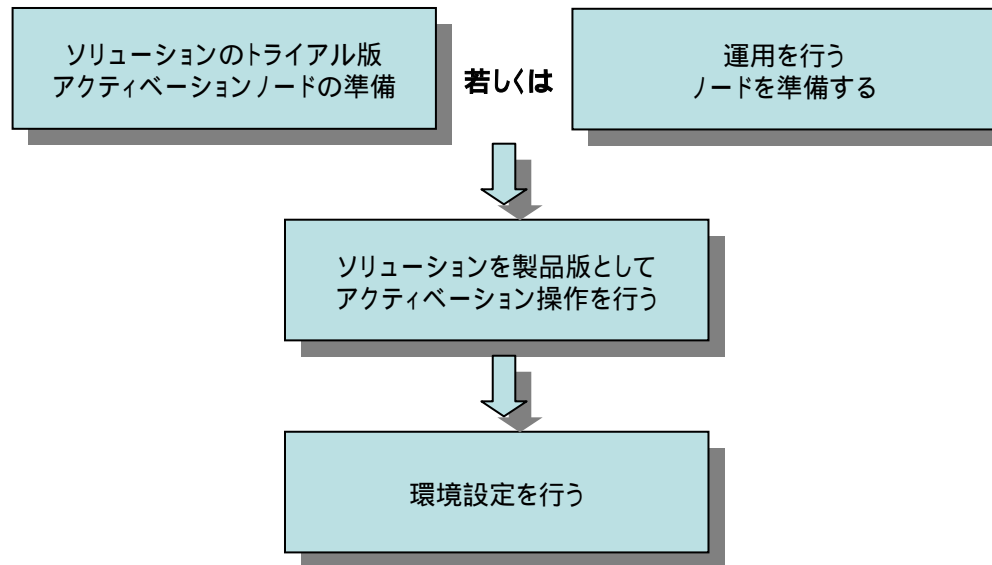
製品版ライセンスには、法人契約と個人契約の2種類があります。

- ・法人契約の位置づけ
商用もしくは商用環境に類似する環境で、サービス提供を行うデータベースの運用維持を行う目的で、当ソリューションの導入を行い運用の実施をする場合
- ・個人契約の位置づけ
法人でのシステム開発環境や個人が所有するデータベースのシステム開発環境で、当ソリューションの導入を行い運用の実施をする場合

トライアル版アクティベーションまでの流れ

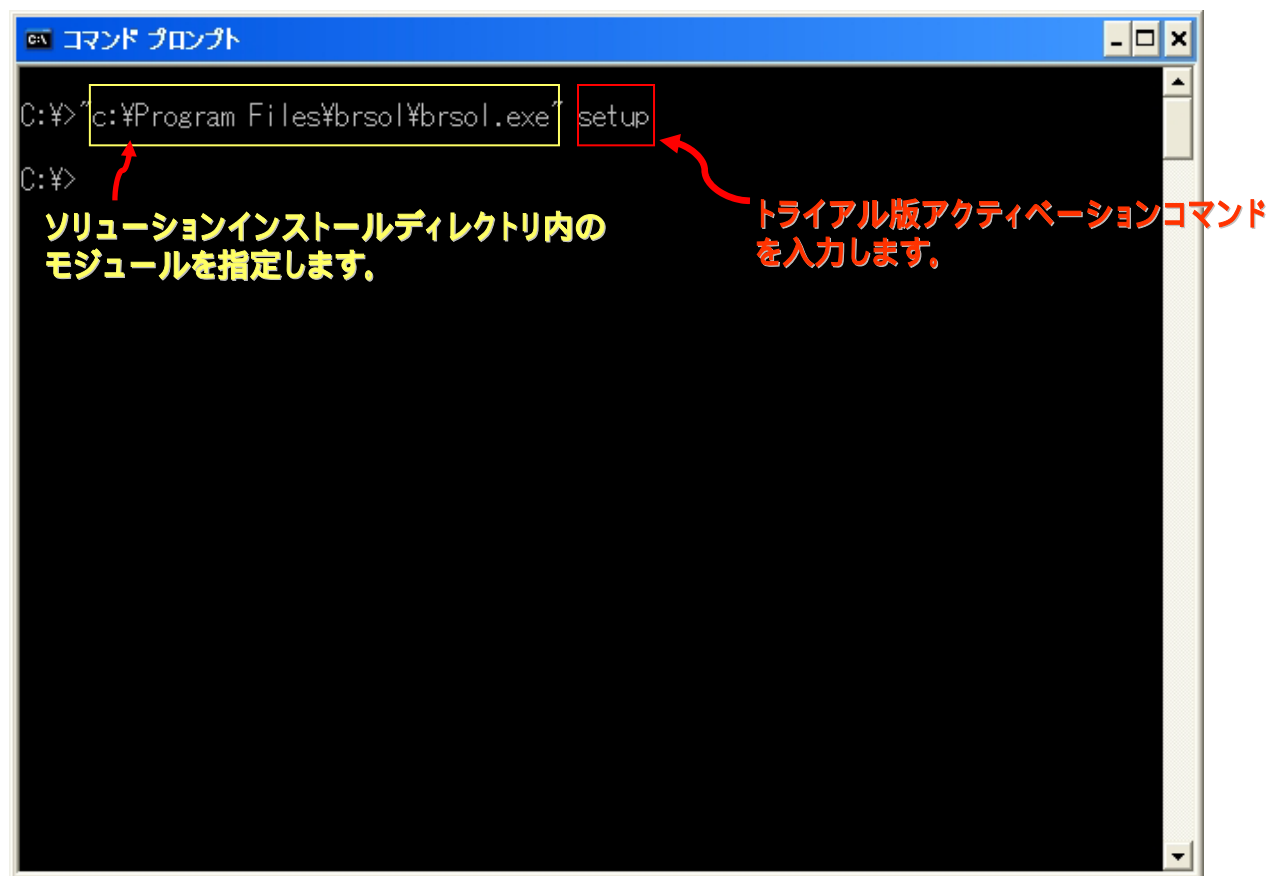


製品版アクティベーションの流れ



トライアル版アクティベーション操作の起動

～ 起動 ～



トライアル版アクティベーション許諾申請操作

～ 使用許諾契約 ～

Oracle Database Infrastructure Solution Activation Center

ライセンス発行ボタンをクリックすることで、d824adea24adcc36 の認証キーでライセンスコードを作成します。

お名前 _____

メール _____

この使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様（法人、個人のいずれかを問いません）とPrime Data Consulting株式会社（以下「弊社」といいます）との間で下記製品に関して締結される法的な契約です。

製品名：Oracleデータベース基盤ソリューション（以下「本ソフトウェア」といいます）

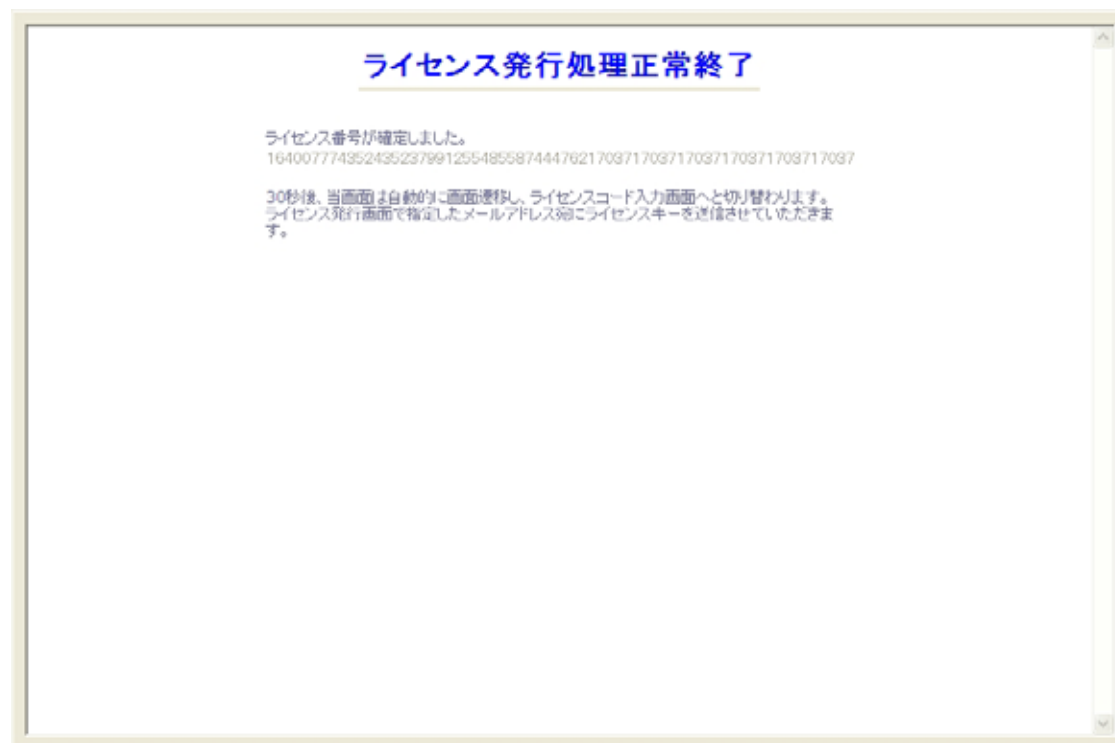
お客様が、インストールやコピーその他の本ソフトウェアを

※ライセンス発行は1回だけが可能です。
☒ 控えを作成する **ライセンス発行**

ご入力いただきましたメールアドレスに、運用ガイドのダウンロード情報を送付させていただきます。

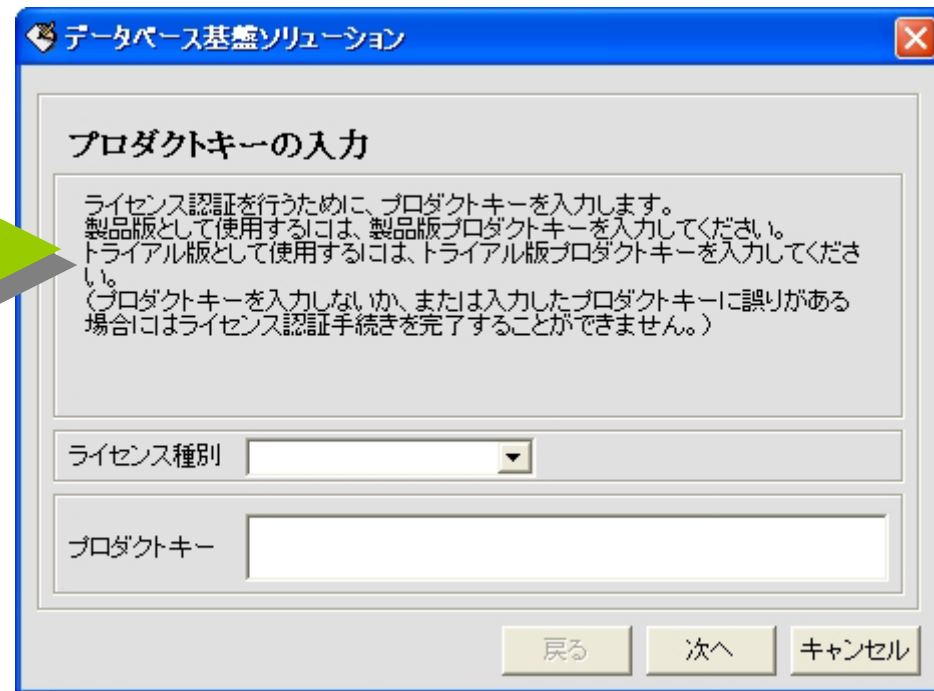
トライアル版アクティベーションライセンス番号表示

～ ライセンス番号表示 ～



トライアル版アクティベーションライセンスキー入力操作

～ ライセンスキー入力 ～



製品ライセンスのパラメータ設定操作

～ 製品ライセンスのパラメータ設定 ～

構成テンプレート選択

バックアップ・リカバリツール

☐ [実施する]

運用ツール

☐ 統計情報の手動作成を行う

☐ トレースファイル削除を行う

☐ アラートログ・リスナーログ削除

ログ運用方法

☐ 物理削除運用を行う

☐ ローテーション運用を行う

☐ 領域リソースチェックを行う

☐ 索引オブジェクト再編成を行う

イベントログ出力形態

☒ ソリューション実行ログとオラクルプロセスも含め出力する

☐ ソリューション実行ログの出力のみ行う

運用形態

☐ シングル構成

☐ 現用・待機構成

クラスタ種別

☐ Fujitsu Safe Cluster

☐ Microsoft MSCS

☐ 両現用構成 (Oracle RAC)

☐ 災対構成 (DG)

☐ 災対構成 (REMOTE EO)

☐ 災対構成 (RAC + DG)

外部連携機能

☐ 外部媒体への遠隔転送あり

☐ 外部媒体への遠隔転送をしない

登録

終了

構成情報

Fujitsu SafeCluster Microsoft MSCS Oracle Real Application Clust

分類

運用形態

クラスタサービス数

ノード数

ORACLEノード名

クラスタサービス名

ノードインスタンス名

OracleHome名 OraDb10g_home1

リスナーサービス名

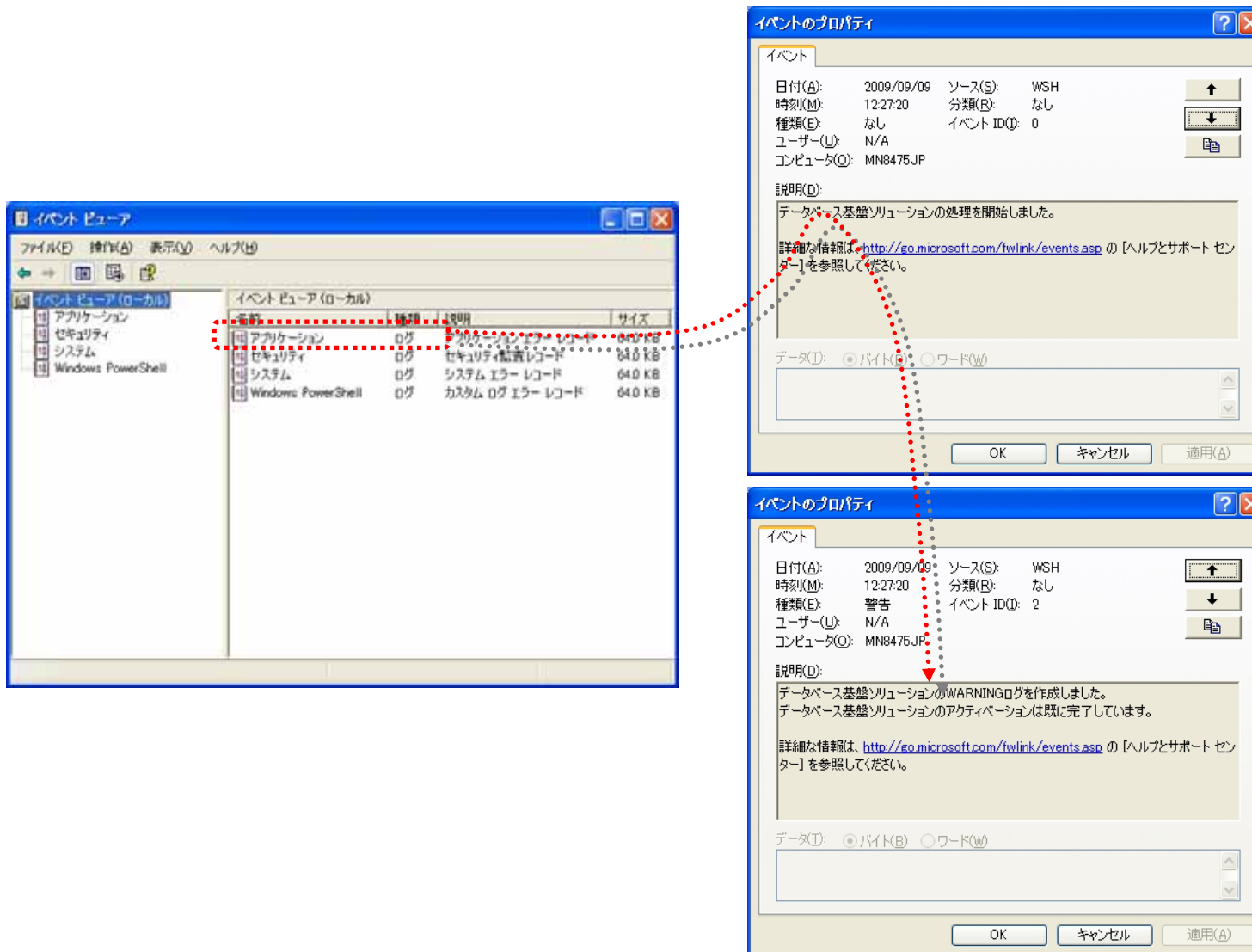
構成ノード名

ノード名	IPアドレス
------	--------

確定 終了

選択したオプションでパラメータ
デザインシートを作成します。

すべての操作の証跡をアプリケーションログとして保存



Prime Data Consulting Co.,LTD.